

千里丘西地区市街地再開発について

○松本暁彦議員

次に、3点目の質問です。千里丘西地区市街地再開発についてですが、約30年にわたって再開発のための活動を行っていた準備組合が解散したとお聞きしています。その後も市が組合にかわり事業を進めるとのことですが、千里丘西地区市街地再開発の現在の状況、そして、どのような取り組みを行っているのか、お聞かせください。

1回目の質問は以上です。

○藤浦雅彦議長

建設部長。

（土井建設部長 登壇）

○土井建設部長

千里丘西地区市街地再開発の現在の状況についてのご質問にお答えいたします。

千里丘西地区につきましては、昭和63年に地元地権者により、千里丘西地区市街地再開発準備組合を発足され、長年にわたり活動を続けてこられ、平成25年からは国の補助金を受け、3年間にわたり、計画の検討と合意形成に取り組んでこられましたが、組合設立に必要な合意が得られず、残念ながらことし4月に準備組合を解散されております。

次に、今後の取り組みにつきましては、準備組合の解散を受け、市が主体となって、千里丘西地区が抱える密集市街地の改善や、交通安全対策などに取り組む必要があります。整備の手法につきましては、JR千里丘駅西口駅前には既に駅前広場と都市計画道路の都市計画決定がありますことから、街路事業で整備を進める手法と、今まで取り組んでまいりました地元の意向を生かした市施行の再開発事業の2つの手法について、現在、検討を進めているところでございます。

○藤浦雅彦議長

松本議員。

○松本暁彦議員

それでは、千里丘西地区市街地再開発につきまして、2回目の質問をさせていただきます。千里丘西地区市街地再開発の現状と2つの手法があることを認識いたしました。

私はこの地域の再開発事業は、本市にとって非常に重要であると考えております。理由は大きく3点あります。

1点目は、駅前周辺での危険な交通状況への対応です。JR千里丘駅西口周辺では、吹田市で3,000人が住むミリカシティを初め、多くのマンションが近年建てられてお

り、駅利用者が増加しています。朝は通勤・通学者で混雑し、雨の日は車での送迎がふえ、特に危険な状態が続いているのが現状です。

また、JR岸辺駅から線路沿いにJR千里丘駅前を通り、産業道路を結ぶ新しい道路があります。今はまだ交通量は少ないですが、健都が完成した際には、病院利用者、イノベーションパークの企業の通勤者等がこの道路を利用することで、JR千里丘駅前の危険な状態が加速することは容易に予想できます。事故が起きる前にしっかりとした対策が求められます。

2点目ですが、防災の観点からこの地域の木造密集地域を解消する必要があると考えます。道路幅1メートル前後、消防車も入れない場所において火災が発生した場合、建物及び建物間の延焼拡大は早く、最近多発している広域の市街地火災になる可能性を有している現状があります。対策が求められます。

最後、3点目ですが、健都のまちづくりに関連をいたします。国家プロジェクトである健都の本市側の入り口となる駅前であり、本市の顔となる場所でもあります。予防医療と健康増進のまち摂津の玄関口としてふさわしい駅前をつくる、最大のチャンスであると考えます。健都と連携したよりよい駅前、まちづくりを考慮した再開発が可能であると考えられ、その具体化が求められます。

以上3点から、千里丘西地区市街地の抱える問題に対して、処置・対策が早急に必要です。

さて、この対策のため、2つの手法を検討されているとのことですが、方針決定はいつごろを予定されているのか、お聞かせください。

○藤浦雅彦議長  
建設部長。

○土井建設部長

整備方針の決定の時期についてのご質問ですが、現在、検討の状況につきましては、街路事業と再開発事業の2つの指標に対する諸課題につきまして、ほぼ整理ができた状況にありますが、いずれの整備につきましても、地元地権者の協力が不可欠でありますことから、現在、地権者のヒアリングを実施し、意向確認を行っているところであります。

今後はその結果も踏まえ、また、本市の財政事情等も考慮し、早い時期に方針を決定してまいりたいと考えております。

○藤浦雅彦議長  
松本議員。

○松本暁彦議員

今の答弁についてですが、早急に方針を決定されるということですが、この千里丘西地区市街地再開発は喫緊の課題であると考えます。

この再開発に関して、ぜひ市長の考えをお聞かせください。

○藤浦雅彦議長  
市長。

○森山市長

松本議員の質問にお答えをいたします。

J R千里丘駅西口駅前の再開発につきましては、長年の関心事というか念願の事業でございます。今、担当のほうからもいろいろ説明したと思っておりますけれども、まず、この開発は権利者、地権者の皆さんの意思、意向、これをまず尊重しなければいけないということで、あの地区では権利者の皆さんが準備組合を設立された。これが、ちょうど今から30年前ぐらいだったと思えますね。ということは、組合施行での再開発を目指されたわけでございます。行政もそれを尊重し、そして、ともどもに取り組んでまいりました。

この30年の間に地域の状況は一変しました。そして、人もだんだん入れかわってまいります。ああでもない、こうでもない、いろんな取り組みをされましたが、平成25年、これは最後のといえますか、国費を投入して、そして、もう一遍、組合施行の可能性を見出そうということで取り組まれたわけですが、結果的には、大口地権者の皆さん等々、組合施行の可能性、これがどうしても同意を得られることができないということで、この4月に組合を正式解散されたわけでありまして。実に30年の年月を経たわけでありまして。

さすればどうすべきか。このまま放置するわけにはまいりません。J R千里丘駅西口は先ほどから言われておりますように、市の北側に偏っているとはいえ、まちの顔、玄関口であります。これからは、市が責任を持って解決をしなくてはなりません。

そういうことで、今日までの積み重ねを踏まえた上、地権者の意向、これを尊重し、そして、財政事情等々を踏まえまして、慎重に検討し、早急にその方針を決定したいと思っております。

以上です。

○藤浦雅彦議長  
松本議員。

○松本暁彦議員

ありがとうございます。市長の責任をしっかりと果たすという意欲を認識させていただきました。

再開発に関して、財政事情などの多々課題があるかとは思いますが、しかしながら、交通安全対策上、防災対策上からの安全・安心のまちづくり、そして、予防医療と健康増進のまち摂津の顔となる10年、20年先の健都の発展を見据えた千里丘西地区市街地再開発は必須であり、速やかな方針決定が必要であると考えます。

平成31年7月には、国立循環器病研究センターがオープンいたします。時間は差し迫っております。来年3月までには方針を決定していただくことを、強く要望いたします。以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○藤浦雅彦議長

松本議員の質問が終わりました。